令和8年度第1回三重県医療審議会周産期医療部会
日時：令和8年10月19日（月）19：00～20：50
形式：ハイブリッド形式

事項1　開会
事項2　淀谷総括監よりあいさつ
資料確認

事項3　議題
【資料1－1から資料1－4】第8次三重県医療計画における周産期医療対策の中間評価について、事務局説明

【委員】
　早期新生児死亡率の悪化について、症例検討会で議論されたかもしれないが、何か特有の原因があったか。

【事務局】
　症例検討会において、議論は無かったものの、予後不良な心疾患の児等が亡くなっていて、非常に困難な症例が多かった。

【委員】
　就業助産師数の最終目標値をより高く見直していただくのはありがたい。現在の助産師の状況については、25歳から34歳までの助産師の人数が最も多い一方、産休や育休の取得により、実際に働く人数や時間は人数よりも少ない。

【委員】
　新生児の搬送について、これまで中勢から南の地域を医師と運転手だけで、三重中央医療センターがカバーしてきたが、なかなか人手の確保等が難しい。消防本部の救急車との併用等、どのように連携していくのかが重要。

【委員】
　【資料1－4】の分娩数について、この数値は県内で出生した人数か。

【委員】
　分娩数は、里帰りの方かどうかを区別せず、県内の施設で生まれた方の人数であり、三重県内の方で出生した人数ではない。
　三重県の特徴として、里帰り出産が多く、この分娩数は、県全体で生まれる子どもの数より多いと思われる。

**　第8次三重県医療計画における周産期医療対策の中間評価について、事務局案のとおりとしてよいか、本部会にて審議がなされ、各委員から異議が無かった。**

**　【資料2】三重の周産期医療体制あり方検討会の検討状況について、事務局説明**

【部会長】
　県南部では利用できる交通機関が乏しい状況が多い。現在、三重の周産期医療体制あり方検討会において、県と市町が連携して公共ライドシェアを用いて、こうした課題に取り組むことが議論されている

ところ。
　近年、少子化が急激に進行しているが、各医療機関におけるお産や新生児の状況はどうか。

【委員】
　全体の傾向として、北勢医療圏では、入院数が大きく減少し、中勢伊賀医療圏から南勢志摩医療圏では、入院数が増加している。分娩数全体としては、減少傾向で、NICU入院児数も減少している。

【委員】
　近年、分娩を取り扱う診療所等が減少している影響か、伊勢赤十字病院の分娩数が若干増加している。

【委員】
　市立四日市病院のNICUの状況は、昨年度からあまり変化は無く、分娩数が数%程度減少している。

【委員】
　三重大学医学部附属病院における小児外科の疾患数は、年間20件程度で、比較的件数は多い。

【委員】
　直近の1年間をみても分娩数が大きく減少していることから、分娩を取り扱う診療所が予想以上に減少するといった、厳しい想定をしていただきたい。分娩取扱施設が全く無い地域が、今後数年の間に生じてしまうかもしれない。

【資料3】新生児搬送体制検討会について、事務局説明

【委員】
　すくすく号が機能していた点として、市町を超えて出動できることが大きい。消防本部の救急車だと、どうしても所管する管内までが出動できる範囲になってしまう。

【事務局】
　御指摘のとおり消防本部の救急車は、管轄する管内に出動することが基本。各消防本部の御意見をふまえながら、今後検討会にて検討させていただく。

【委員】
　御指摘のとおり、消防本部は、管轄内の施設等へ出動する。北勢医療圏の市立四日市病院と連携し、クベース（保育器）と医師の搬送を行っている。

【資料4－1から資料4－2】第8次（後期）三重県医師確保計画の検討状況について～産科・小児科における医師確保計画～を事務局から説明

【部会長】
　若手医師は、産休や育休を取得する年代であるため、分娩を取り扱っている人数は、少ないのが現状。そうした背景は、今の医師確保計画には見込まれているか。

【事務局】
　分娩取扱医師偏在指標では、正確には加味されていない。医師の産休・育休等の状況を加味して検討・分析をすすめていきたい。

【委員】
　伊賀や東紀州のように医師が勤務できる施設が無い。医師確保の数値を検討する場合は、その地域ごとの特性も加味していただきたい。

【委員】
　小児科も同様の状況。地域枠をうまく機能させていくことが重要。

【委員】
　産科、小児科については、地域枠医師の医師少数区域での地域貢献義務を、県内勤務で満たすという制度変更はできないのか。

【事務局】
　地域枠医師の地域貢献方法に関しては、昨年度より議論を進めているところ。今回いただいた御指摘の点も含め、引き続き検討をすすめたい。

【資料5】令和7年度三重県周産期医療ネットワークシステム運営研究事業（妊産婦）について
【資料6】令和7年度三重県周産期医療ネットワークシステム運営研究事業（新生児）について
各委員からそれぞれ説明